

施策名：すべての主体が参加する美しく快適な県づくり

事業名	担当課・室名	ページ
おおいたうつくし作戦推進事業	うつくし作戦推進課	1 / 1
未来の環境を守る人づくり事業	うつくし作戦推進課	1 / 1

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：I-4-(4)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
1	おおいたうつくし作戦推進事業 (H28～) うつくし作戦推進課	①環境保全活動の普及・啓発 ・県民実行型の環境イベント「おおいたうつくし感謝祭」の開催 ・アプリを活用した海洋ごみ拾いイベントの開催	①	6,916	③	1,413	うつくし大行動参加人数	目標値	384,000	389,000	394,000	D
			②	5,316	④			実績値	210,265	255,122	—	
	美しい自然と快適な地域環境を将来の世代へ継承するため、「まち・ひと・なにかま」づくりをテーマに「おおいたうつくし作戦」を展開する。	②おおいたうつくし作戦の推進 ・うつくし推進隊による地域活性化のための活動を支援 ・モデル地域の推進隊による地域や他団体と連携した活動を支援 ・うつくし作戦をけん引する新たな団体の活動基盤づくりへの補助	主な活動指標と達成率			[人]	達成率	54.8%	65.6%	—		
			うつくし感謝祭出展ブース数	目標値	15	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 マスクの着用や身体的距離の確保など、新型コロナウイルス感染防止対策を取り入れた活動方法を情報発信したことにより、前年度より参加人数は増加したものの、集団での活動が大幅に制限されたことから、目標達成には至らなかった。 一方で、うつくし感謝祭では、目標値を大きく上回る数のブースが出展し、県民に対しうつくし作戦の活動内容を普及することができた。 引き続き、WEBやSNS等を積極的に活用し、うつくし作戦の取組を啓発するとともに、県民の環境保全意識の醸成を図る。						
				実績値	23							
なにかまづくり事業実施団体数	目標値	5	実績値	5	達成率	100.0%						
③おおいたうつくし作戦県民会議 県民の声を反映させた県民総参加の環境施策を推進するための会議を開催	[団体]	達成率	100.0%									
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)										
	18,581 (0)	17,008 (1,241)										

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
2	未来の環境を守る人づくり事業 (H23～) うつくし作戦推進課	①幼児向け環境教育の推進 幼児向け環境劇、ワークショップの実施	①	4,549	③	2,379	環境教育参加者数	目標値	10,000	10,000	10,000	D
			②	3,043	④			実績値	5,473	7,630	—	
	次代を担う子どもたちへ体験的な環境教育を実施することで、環境意識が高く、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材を育成し、おおいたうつくし作戦によるひとづくり（人材の育成）の強化を図る。	②大人向け環境教育の推進 環境教育アドバイザー、サポーターの派遣	主な活動指標と達成率			[人]	達成率	54.7%	76.3%	—		
			幼児向け環境劇公演回数	目標値	25	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、リモート講座の実施等の工夫をしたが、環境教育の参加者数の目標を達成できなかった。 このような状況下でも、環境劇巡回公演、環境ワークショップ研修及びNPO等によるおおいた子ども探検団推進事業の実施により、幼少期からの環境保全意識の醸成につなげることができた。加えて環境教育アドバイザーの派遣回数は昨年度より増加しており、地域や学校等において環境教育の機会を提供できた。 今後も、あらゆる世代に向けた環境教育を推進し、県民の更なる環境保全意識の向上に努める。						
				実績値	24							
環境教育アドバイザー派遣回数	目標値	170	実績値	114	達成率	67.1%						
	予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)										
	16,267 (0)	13,157 (0)										